

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月5日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679100166
法人名	(有) ソフィア・インター・ナショナル
事業所名	グループホーム港ヶ丘
所在地	大島郡徳之島町亀徳2239番地 (電話) 0997-81-1215
自己評価作成日	平成27年2月6日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年2月24日(火)

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者一人ひとりの個性を尊重し、あるがままを受け止め、のんびりゆったり楽しく過ごして頂けるように職員同士、連携を取りながら日々、創意工夫に励んでいる。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当ホームは、港を見下ろす小高い丘に位置し、日当たりも良くホームの廊下からは毎朝、日の出を望むことができる恵まれたロケーションである。

・職員一人ひとりが利用者の「あるがまま」を受けとめ学び、そして、ともに支えあい、島での生活の継続をサポートする、「ゆったり、のんびり、焦らず、何とかかなるさ、楽しさ、笑顔が一番」といったサブタイトルを掲げ、月1回の職員会議で共有し話し合い、実践につなげている。

・母体が医療機関で医療連携体制が整っており、訪問診療や訪問看護との連携、緊急時の対応による適切な医療が提供されている。また、重度化した場合は段階に応じてホームででき得る最大のケアにて対応し、本人、家族、主治医や関係機関と十分に話し合い、医療機関や施設を紹介するなど誠心誠意取り組んでいる。

・管理者は、行政や社会福祉協議会などが開催する研修会や内部研修への参加を職員に勧めたり、グループホーム連絡協議会の交流活動を通じて情報交換をおこない、職員の力量を把握し、目標を持って職務に取り組めるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は理念を共有し、念頭に入れ、実践につながるよう努力している。	理念は、本人らしさを大切に利用者の思いを受け止めて、毎日家庭的な雰囲気でご過ごせるよう誠心誠意、心をこめケアするといったもので、職員は会議で話し合い、共有してケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事見学や商店街への買い物、入居者の地元へドライブに出掛けたりして地域との交流をしている。	利用者が地域とつながり暮らしていけるよう地域の行事への参加や、ドライブ、地域サロンへ出かけている。また、ホームには、幼児や三味線の演奏訪問があり、社協主催の唄や創作活動へも参加している。家族や友人から、じゃがいもなど野菜の差し入れをいただくなど地域とは日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症の方を理解していただく場や機会はないが、来訪頂いた方々にはこたえられる範囲で支援の方法等、話をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で入居者の現状報告、行事報告をし、意見交換で出た内容を職員が共有しサービス向上に活かしている。	会議は定例化され、事業所の近況報告や運営についての課題などをメンバーから意見やアドバイス、情報提供を受けて、職員全員で話し合いケアに活かし、改善策を図るなどサービス向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者との日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者との日頃からの密な連携はあまりないが電話や運営推進会議で実情を伝えている。	行政担当者とは、日頃から協力関係を築くとともに、市主催の研修会へ参加し知識や技術を磨きサービスやケアに活かせるよう自己研鑽している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のマニュアルのテキストを利用し職員会等で話し合いケアに取り組んでいる。外部からの侵入防止の為、夜間帯のみ玄関の施錠と入居者の状態による転倒防止の為に起き上がりの為のベッド柵はしている。	職員は、身体拘束をしない取り組みを実践しており、鍵をかけない自由な暮らしの大切さについて共通理解するとともに、身体拘束の弊害についても認識している。マニュアルを活用して話し合い、自己研鑽してスキルアップを図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議の際に話し合ったり資料などを参考にして知識を深め、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などがあれば積極的に参加し知識の習得に励んでいるが活用できる場や機会があまりない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に見学して安心して入所できるように対応している。退所時も他の施設への紹介など行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時や手紙等で月に1回近況報告を行い、入居者とは日々の会話の中で要望を聞き職員会議で話し合っている。	利用者には、日々の暮らしの中で要望や希望、意見などを聞き取っているが、遠方の家族などには、ケア日誌を郵送して利用者の生活状況や事業所の内情などについても共通認識を持てるよう支援している。出された意見や要望を職員で話し合い、サービスの向上や運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回職員会議を開き、入居者の事、業務や運営に関する意見交換を行っている。	毎月職員会議の中で業務や運営について意見交換し、具体的には、浴槽の改修工事やフローリングのメンテナンス、カラオケ機器購入、災害時の自家発電について具体的な意見を運営者に報告してより良いケアの実現に活かし改善策が図れるよう努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本人の頑張り次第（資格取得）で昇給しやる気を引き出している。スムーズに業務を行い定時で帰れるように職員同士連携を摂り職場の環境、雰囲気作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	島内での研修会にはできるだけ参加し職員各自がスキルアップできるように進めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	勉強会での交流や各職員が知り合いの職場の情報を聞き、業務内容に取り入れたり等質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者や家族の方にホームの事を知っていただくために、入所前にホーム見学をして頂き、要望等細かいところまで聞き安心して入所できるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望に応えられるように利用開始の段階で十分話を聞き電話や面会の際に、現状報告を行いながら新たな要望を聞き出したりしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前に十分話し合いを重ね必要としている支援ができるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の暮らしの中で、本人のできる事を見つけ、行動してもらいながら関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や外出、外泊、電話でのやり取り等で精神面の支えて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所、生活していた場所へのドライブ等、要望に応えられるようにしている。	地元の地域サロンへの参加、自宅訪問して親戚の方や近所の方々との交流、墓参り、お盆や年末年始の帰宅や外泊など積極的に外出の支援をおこなっている。また、友人が遊びに来られ交流するなど馴染みの場所や人との関係が途切れることがないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	会話やレクリエーションの中から個々の個性をうまく引き出し入居者年がかかわり合っているように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族の方に会った際に様子を聞いたりして関係を断ち切らないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や、表情、仕草から本人の思いを感じ取りどうしてほしいのか把握に努めている。	職員は、アセスメントや日常生活の中で本人の言葉やしぐさ、表情から真の思いを汲み取り、家族にも情報を得た上で、本人らしい暮らしの実現に向け共通認識して、本人本位にケアしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に、家族や以前のサービス提供先から情報収集を行い、本人に必要なサービスが提供できているか経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	共同生活の中で、本人の生活スタイルをなるべく維持し、本人らしさを十分発揮できるように現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族、看護師と話し合いを持ち、現状報告しながら意見やアドバイスを頂いて本人の意向に沿った介護計画を作成するようにしている。	アセスメント情報から抽出された課題を分析し、介護計画を作成している。短期目標は、半年に1回または、適宜見直ししている。また、計画は思いや要望などが反映した本人の現状に即した、介護計画になっている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の介護日誌や、個別記録に記入し回覧することにより、職員が入居者の情報を共有し日々の実践や介護計画の見直しに活かすことができる。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎日の決められたスケジュール以外にも本人家族の希望があれば外出外泊の許可、ドライブや買い物に連れ出したり、その時々々の要望に応えられるようにしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域サロンや同系列施設での催し物への参加により、本人の心身の力が発揮でき、楽しめるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携で毎月の定期訪問診療、異変時の病院受診は、本人家族の納得の上で、適切に医療が受けられるように支援している。	訪問診療による定期的な診察、他科受診は職員が対応しているが、救急の場合は、家族にも協力をもらっている。訪問歯科診療による口腔ケア、義歯調整、訪問看護とも日常的に協力体制が構築されており、年1回医療の勉強会（AEDなど）も開催している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>本人の状態の変化を随時、訪問看護師に電話で相談し適切な受診や看護が受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入居者が入院したバイには病院のソーシャルワーカーと常に連絡を取り合いソ困や情報交換、又退院時に向けて話し合いをしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方については入所時の説明で行っており、本人家族も納得している。その際にはグループ内の他の施設に入所し看護してもらえよう連携を取っている。</p>	<p>入所時に重度した場合にホームででき得る最大限のケアについて説明をおこなっているが、具体的な文書化はしていない。看取りの実績はなく、段階に応じて主治医やチームで話し合い、医療機関、施設等の紹介を行い適切なケアが受けられるよう支援している。</p>	<p>重度化や看取りについては、段階に応じて、本人、家族、関係機関などで十分に話し合い、必要な措置を取ることが望まれる。同時に文書などで双方向の意向、ケアの方向性など意思確認をおこなうことが重要であり、今後文書化されることも望まれる。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎年1回消防士に来てもらい救命訓練やAEDの使い方の甲種を受け、急変や事故発生時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎年1回地震・火事を想定した避難訓練を全職員と近隣住民の方々にも参加を呼びかけて行い協力体制を築いている。</p>	<p>夜間の地震による火災想定での避難訓練を実施、自主訓練にてAEDの使用法の徹底、津波想定での訓練などそれぞれ年1回実施している。避難訓練は、利用者全員が参加、地域住民の協力体制も確保している。また、災害時は、役場から配給制度が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないよう言葉かけには十分注意を払い対応を心掛けている。	利用者への呼びかけは、本人が好む馴染みの言葉かけをしているが、年長者であり失礼のないよう十分に配慮しながら、職員一人ひとりが意識して対応するなど人格やプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の会話の中で思いや希望をさりげなく聞き出したり、したい事の自己決定ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおよそその一日の決まりはあるものの、その日の本人の体調や要望に沿って過ごし方に変化を持たせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的（3ヶ月毎）に地域の美容師が訪ねてきて散髪してもらっている。毎日の洋服は本人が決め、整髪や整容の声掛け支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力職員と一緒に準備や後片付け、旬の食材で季節感を味わってもらおう等の工夫をしている。	特産のジャガイモ料理や油ソーメンなどの郷土料理を献立に取り入れ、その日の担当職員が献立を作成、包丁を使い野菜切りや皮むきをされる方、また食器洗いなどの手伝いをされる方もいる。敬老会では、家族やボランティアの方々とお弁当を楽しむ機会を設けて交流している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに気をつけ食事形態や量を一人ひとりの状態に合わせるよう工夫している。水分は一日の摂取量を記録し確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けをし本人の状態に合わせて口腔ケアを行っている。義歯の仕上げ磨きは必ず職員が行う。訪問歯科で口腔状態も定期的にチェックをしてもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間ポータブルトイレ使用の方も日中はトイレ誘導をし自立に向けた支援をしている。	排泄チェック表を活用し、本人のリズムに合わせた誘導や時間ごとのトイレ誘導により排泄のリズムを整えている。布パンツを使用される方も多く、夜間は、オムツ対応やポータブルを使用される方への移乗・排泄介助により排泄の自立支援をおこなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量や排尿排便のチェックと毎日、午前と午後の体操への参加、野菜中心の食事でも便秘予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの好みに応じた温度に調節し、決められた入浴日以外にも気分の都合や希望があればいつでも入れるように支援しています。	あらかじめ入浴日は決めているが、臨機応変に対応し入浴の順番はその方一人ひとりに合わせて入浴してもらっている。入浴後、洗濯物干しを日課にされている方もおられ入浴の順番に配慮している。浴槽のサイズが大き過ぎるため、利用者からの意見もあり、近い将来改修する予定である。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々の状況や体調に応じ一人ひとりに合った休息や安心した眠りにつけるように支援しています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりのお薬ファイルを全職員が共有し、目的、副作用、用法用量を把握し、薬の準備段階から服用の際の確認、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や力を活かし、調理や洗濯、園芸、気分転換に買い物、ドライブ、季節行事等の参加の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりのその日の体調や希望にそって気分転換にドライブや、買い物、地域サロン等で外出の支援をしている。家族も協力的である。	駐車場でお茶をしたり、散策や日光浴など楽しんでいる。体調や希望に応じて、地域のサロンへ参加や自宅訪問、ドライブがてら買い物を楽しまれる方もおられる。また、家族は墓参りや外泊支援など協力的である。毎年のトライアスロン開催時は、沿道で選手にエールを送るなどしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は小遣いとして預かり、希望があれば物品の購入や医療費の支払いに使用している必要に応じ職員と買い物に行ったりしている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族や友人からの電話や手紙のやり取り、代筆等の支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は不快や混乱を招かないように家具の配置に配慮したり島唄などのBGMを流したり、摘んできた草花を活けたりしている。	玄関には、島らしく珍しい貝の標本が陳列されAEDも設置されている。玄関から食堂を中心に左右対称に居室が配置されている。廊下も広くソファが設置され、毎朝、体操したり日の出を拝むことができる。対面式のキッチン、家庭的な雰囲気である。こじんまりとした食堂では、島言葉が飛び交う賑やかな雰囲気、採光も十分に落ちついた空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で休息を取ったり、廊下に椅子を置いて気の合ったもの同士が思い思いに語り合ったりできるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や寝具などを持ち込み本人の意思を尊重し要望を聞きながら配置を決めたり写真を飾ったりしている。</p>	<p>家族写真や日めくり（暦）、遺影、位牌、仏壇、整理タンスや寝具など使い馴染んだ物を持ち込んでこだわりの部屋になっている。本人の身体機能に合わせ、和室も2部屋あり、専用ホーキでの掃除を日課にしている利用者もいるなど、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>家事や炊事、レクリエーション・余暇活動が安全で自立に向けた生活が送れるように工夫している。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない